



シラバス - 人間学部 共生社会学科  
2006年度(3年生用)

Back

[シラバストップページへ](#)

科目名	フィールドワーク論
学期	半期
単位	2
履修学年	3年生
必須 / 選択	選択
担当教員名	服部 慶巨
1. 授業科目の目的 および概要	フィールドワーク(field work)は、「現地調査」「野外調査」などと訳されることが多い。しかし単なる「現地」「野外」調査を超えたところに、フィールドワークの本来の目的がある。本講義では、日常生活に十分応用できるフィールドワークの知識・技術の修得を目指しつつ、社会現象の本質をとらえる目を養うことにしたい。
2. 授業内容および 授業の配分	[01]ガイダンス:講義の目的・展開方法および評価について [02]フィールドワークの目的(1):フィールドワークによって得られるもの(こと) [03]フィールドワークの目的(2):諸々の調査方法と理論の関係性について [04]フィールドワークの目的(3):方法および検討(長所・短所)について [05]フィールドワークの問題点(1):フィールドワーク前に起こりやすい問題 [06]フィールドワークの問題点(2):事実のとらえ方 [07]フィールドワークの問題点(3):「調査する側」と「調査される側」の温度差 [08]フィールドワークの問題点(4):作業仮説の問題(その1) [09]フィールドワークの問題点(5):作業仮説の問題(その2) [10]フィールドワーク実践(1):質問方法の問題 [11]フィールドワークの実践(2):ラポール [12]フィールドワークの実践(実験) [13]フィールドワークの実践(3):参与観察 [14]フィールドワーク実践例:文化人類学者たちのフィールドワーク例 [15]まとめ:これまでの講義から得られたもの(こと)を再検討する
3. 指導方法	教科書・参考書・プリント・板書を用い、受講生自身も陥りがちな問題点を指摘・講義する。必要に応じて、視聴覚資料も用いる。
4. 評価方法	終講試験に代わる「レポート」と平常点による。場合によっては出席点も考慮する。
5. テキスト・教材など	服部慶巨(著)『補強版 ストレス・スパイラル』人間の科学社
6. 参考文献・その他	適宜、プリントを配布する。